
Lead me

R A N

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Lead me

【Nコード】

N4947I

【作者名】

RAN

【あらすじ】

DQ3の男勇者と女賢者二人旅の話。
女賢者の独白です。

二人がただラブラブなだけの話。

サイト、dノベ転載

この世界は美しい。

そして勇者である貴方は、この美しい世界を守ろうとしている。

私は、貴方のために何ができるのだろうか。

私は賢者だ。

僧侶から賢者になった。

だから、回復や補助の魔法は得意だから、それで彼を助けていくことができる。

でも、違う、そういうことじゃなくて、何かもっと、別のこと…。

私達は二人で旅をしている。

しようと思えば、あともう二人連れていけるのに、彼は私だけを連れていった。

あまり人と一緒にいるのが得意じゃないんだ。

でも、一人で挑むのも心細くてね。

僧侶は回復もできるし、攻撃もそれなりにできるだろうか？

それが、私を選んだ理由だそうだ。

正直、それはちょっとこれから旅をする者としてどうなんだろう、とは少し思った。

だから、私になんとかそれを補なっていこうと思った。

だって、どんな理由だって、私を選んでくれたから。
みんな、勇者である彼についていくことを望んでいた。この世界
のために。

いつからだろう。

私のこの気持ちが変わったのは。それだけじゃ、なくなったのは。
もっともっと、彼に何かをしてあげたい。

私のために彼が傷つく時もあった。

いくら少し戦いの心得があるとはいえ、やはりどちらかということ
専門で、しかも男の貴方になうはずはないから。

それでも、貴方は私をずっと守ってくれた。

私とずっと一緒にいてくれた。

私、本当に貴方の役に立っている？

私、貴方のために何ができる？

私がそう聞くと、貴方はいつもただ笑って

そこにいてくれるだけでいい。

君がいてくれるだけで僕は安心できるんだ。

とだけ言う。

そんなの、ずるい。

彼お得意の笑顔でそう言われて、一瞬私は言葉につまる。

本当に、ずるい、彼は。

そんな答えを求めているんじゃないか！

でも、そんな笑顔に私は負けない。

なおも私は彼に食い下がろうとする。

と、彼は私の手をつかんで、私を引いた。

途端、彼と私の距離が縮まった。

私は、一瞬時が止まったように感じた。

彼の、先ほどと変わらない笑顔が私の目の前にあった。

吐息が触れるほどの距離。

自然と、体が熱くなる。

僕と一緒に、世界を見てくれないか。

それだけでいい。それだけで十分だ。

僕は、君に、僕とずっと一緒にいることを望んでいる。

だから、もし僕のために何かしてくれるのなら、君は何があっても僕と一緒にいてほしい。

僕が望むのは、それと、あとは世界の人々の笑顔。

彼の目は真剣だった。

彼の目はいつも不思議だと思う。

黒くて底の見えない目は、光を全て吸い込むようで、光をその瞳の奥から放っていた。

私は、その瞳に射抜かれてしまった。

彼は、そう言うと、私から少し離れる。

気づけば、またいつもと変わらないあの笑顔。

たまに、私は彼が確信的にこういうことをしているのではないかと疑いたくなる時がある。

だけど、そんなことはどうでもいい。

私と貴方はもうすでに約束を交わしている。

もう契約にも近いそれ。

忘れていない。貴方は最初に私に約束させたのだから。

僕と一緒に世界を見に行かないか。

同じことを貴方は私に言った。

そして、その時初めて、その瞳に射抜かれた。

貴方にそう言われたから、だから、私は今こうして貴方といる。

クレイは同じことを言うのね。

私は、悔しまぎれに、彼の額を小突いた。

もう、私は怒っているっていうのに、その嬉しそうな笑顔はなんとかならないのだろうか。

(後書き)

BGM by 平原綾香「虹の予感」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4947i/>

Lead me

2011年10月6日01時22分発行